

第12回 成人発達障害支援学会

発達障害専門プログラム研修会

10月11日(土)／12日(日)@一橋講堂
10月13日(月・祝) @晴和病院

日程により会場
が異なります！

平成30年度より診療報酬化された「発達障害専門プログラム」についての研修会です。発達障害に対する理解や支援方法、発達障害専門プログラムの運用方法についての講義とプログラム体験を実施します。

1部・2部ともに参加された方には「修了証」を発行致します。また、ご承諾いただける機関は学会ホームページにおいて、研修修了機関として掲載させていただきます。プログラムを実施する予定がない方も、どなたでもご参加いただけます。皆様のご参加をお待ちしております！

定員がございますので お早めにお申し込みください！！(2025年6月 受付開始予定)

成人期の発達障害に対する障害告知

障害告知で期待される効果

- ・ 障害は自然発生的な状態
- ・ 自己理解のための手がかり
- ・ 困難を軽減することができる
- ・ 周囲からの理解、支援が期待できる

障害告知で期待される副作用

- ・ 「一生懸命に」の思い
- ・ 能力の偏り
- ・ 認知能力への偏り
- ・ 周囲からの理解、支援が期待できる

発達障害に伴いやすい他の障害

- ・ 協調運動機能の障害
- ・ 運動神経が鈍い (特に球技が苦手)
- ・ 視覚、空間認知の障害
- ・ 視覚：黒板の文字がうまく見えない等
- ・ 空間：物の位置関係の把握が困難等
- ・ 読文字を書く、地図が読めず道に迷う
- ・ 感覚過敏、鈍麻
- ・ 睡眠 (不) 障害

発達障害に伴いやすい他の障害

- ・ 読文字を書く、地図が読めず道に迷う
- ・ 感覚過敏、鈍麻
- ・ 睡眠 (不) 障害

疾患別等専門プログラム加算 (平成30年4月～)

精神科ショート・ケア / 小規模なもの 200点

類似の精神症状をもつ複数の患者 (40歳未満) と共通の計画を作成し、同時にショート・ケアを行った場合に、治療開始日から 5月を限度として週1回に限り算定 (特に必要を認められた場合は2年を限度に週1回かつ計20回まで可)。

対象患者

- ・ 10人以下
- ・ 2名の医師
- ・ 「発達障害」と診断済み

第11回 上手に断る

Good/Bad

「今後、断めに行かない?」

「本音くん (どうやって断ろう?)」

(研修資料の一部)

講師よりメッセージ

梶原利彦 (晴和病院病院 作業療法士)

私も過去にこの発達障害専門プログラム研修を受け、自身の勤務先でプログラムの立ち上げを行いました。プログラムを通して発達障害に対する理解が深まり、より対象者の困りごとにフィットした関わりができるようになりました。始めるのは難しそう?と思ってしまいがちですが、研修に参加してプログラムを体験して頂くことで「出来そう!」「やってみよう」と前向きな気持ちにきつとなれます。成人発達障害支援に携わる皆さまを研修を通じて応援させていただきます!!

第1部 【講義】

第2部 【グループワーク】(プログラム体験)

会場
日程

大会1カ月前～大会当日の
期間にオンラインで動画視聴

① 一橋講堂
10月11日
10:00～12:00

② 一橋講堂
10月12日
10:00～12:00

③ 晴和病院
10月13日
10:00～12:00

講師

太田晴久

昭和医科大学発達障害医療研究所 所長
他1名

小グループ(10名程度)に分かれて実施します。
専門プログラムをすでに実施しているスタッフがファシリテーターを担当します

内容

発達障害とは(診断・治療)
支援について(生活・就労・家族)
プログラム概要

・ワークショップ(プログラム体験)
・参加者同士の情報交換会
・プログラム実施のためのディスカッション

参加費

(①②は東京大会の参加が必須となります)

① ② 5,000円

③ 8,000円

(大会参加者は5,000円)